

**■ 原資充て職員** 短期借入金が前期にはないのに、今期は1億3千万円あまりあるがなぜか。

**■ 農業振興課長** 集荷数量が前年度より多くなり、またJAからの仕入れが買取制度に変更され仮渡金より購入単価が上昇し、さらにブランド加算金を支払うために必要となった。8月には完済予定。

**■ 大垣照子議員** 農産物、イベント経費、販売促進費の使途は何か。合計で1千万円超となるが、もう少し節約できないか。

**■ 農業振興課長** 景品費は個人通販のプレゼントが主。販売促進費はポップちらし、リーフレット作成費など。

**町長** 売上げ5億円の中かで接待交際費をかけず、ブランド確立のためにこれまで宣伝経費をかけてきた。

### 株式会社 仁多堆肥センター

堆肥生産量を増産するなど体制強化しましたが、堆肥原料の不足や天候不順による散布作業面積減少などにより販売が振るわず売上高は減少しました。

売上高 3,150万円  
(前年比 88.4%)  
純利益 29万円

### 一般社団法人奥出雲町農業公社

引き続き子牛市場価格上昇、地域内の優良な初妊牛販売により繁殖育成事業の販売額は増加しました。堆肥事業、作業受託事業は減収となりました。

売上高 1億1,602万円  
(前年比 131.3%)  
純利益 1,526万円

### 有限会社 奥出雲椎茸

買取単価が前年を上回り好調です。直営ハウスも好調で、売上原価減少、出荷量の増加で当期利益を確保しました。

売上高 11億4,391万円  
(前年比 101.9%)  
純利益 5,311万円

**■ 原資充て職員** 買取単価見直し計画があるが、イターンの方など生計確保にどう対応するのか。

**町長** イターンの方は反対されている。しっかりと話し合いを行い、理解していただきたいと考えている。



### 株式会社 舞茸奥出雲

大手との競合を避け、直売所、小売店への直販で安定した販売を継続しています。観光バスの平日乗り入れの増加で、直売所での販売が全体の4割を超えました。

売上高 1億6,705万円  
(前年比 108.4%)  
純利益 23万円

※町への寄附金 400万円

### 奥出雲町土地開発公社

事業収益 7,486万円  
当期純利益 256万円

公有用地事業  
取得 なし

売却 川西地区工場等用地、伝統産業会館用地、農地開発代替地  
(八川叶谷地内)

**■ 原資充て職員** 公共施設等関連用地取得で毎年7千万円を一般財源から拠出している。該当の残債も少なくなっただけで、拠出金を減らしてはどうか。

**町長** 県の指導のもと、あと1億5千万円程度の残債になり、やっと解消のめどが立ってきたところ。何卒ご理解いただきたい。